

会二〇二〇年度の 友学友会総会についての報告

副会長 大川 将

第一号議案

「盗難対策委員会の設置」

賛成 五八三票
反対 二五九票
無効票 二六票

第二号議案

「洋式トイレの和式化」

賛成 七三三票
反対 九五票
無効票 二〇票

第三号議案

「文化祭の二日実施」

賛成 七〇五票
反対 一五五票
無効票 二〇票

今年度は議案が三つあったということもあり少し長めの総会になりましたが、会員はみんな集中力を切らすことなく、それぞれが多様な角度から議論を展開し、例年以上に充実した総会を持つことができました。また一年生や二年生の発言も多くみられ、学年の壁を超えて議論できたことによつて議論がより良いものへと変わったのではないかと思います。この総会を通して、会員でないと分かりづらい不満や要望が明確な意志とともに教師側へしっかりと伝わったのではないかと思います。

学友会エゴ部による

マイ箸作り教室開催

我々エゴ部は五月二十六日・二十七日にマイ箸作り教室を行いマイ箸運動の推進を図りました。

割りばしが環境にあまり優しくないのはみなさんご存知でしょうが、便利さゆえにいついつ使ってしまうと思いきや、五十人を目標にしていたが、予想を大きく上回る生徒と先生方が参加してくれる

新学友会 施政方針

学友会長 黒田健太

原点回帰 ～現状からの脱却



子ども会報告

実行委員長

3年G組 井上貴継

春の子ども会当日四月二十九日。参加してくれた子どもは六十三名(当日来られなかった子も含む)。当日は早朝に雨が降ったため、グラウンドで行う午前プログラム(以下、午前プロ)と室内で行う午後プログラム(以下、午後プロ)を入れ替え、グラウンドが乾いた状態で遊ぶことができた。

体育祭開催を掲げて就任した二〇一〇年度学友会会長金城政帝が二月二日の臨時総会で体育祭開催が否決されてすぐに辞職し、本部役員会も解散しました。その後選挙を経て新学友会本部役員会が発足し、施政方針を固めました。

今年度は第一に、学校を引っ張っていく立場の執行役員に自覚を持たせることで学友会運営をしっかりとするように進めてきました。さらに、学友会の各部・委員会の充実も図っています。たとえば、E.C.O部は間伐材を使用してのマイ箸づくりに取り組み、管理部と生活ルール検討委員会では新たに盗難対策委員会を立ち上げ、盗難の撲滅を目指しているなど精力的に活動を行っています。特に今年度は私がマニフェストであげたとおり盗難対策に力を注いでいこうと思っています。プライバシーの問題などもある

春の子ども会当日四月二十九日。参加してくれた子どもは六十三名(当日来られなかった子も含む)。当日は早朝に雨が降ったため、グラウンドで行う午前プログラム(以下、午前プロ)と室内で行う午後プログラム(以下、午後プロ)を入れ替え、グラウンドが乾いた状態で遊ぶことができた。

午後プロでは障害物競争・玉入れ・大なわ・しっぽおに・借り物競走の五つで構成しました。難しい問題ではありますが、できる範囲のことを最大限行い、上手に利用して撲滅を目指します。これには生徒全員の意識と自覚が必要なので協力

直しを行っています。また我が校最大の行事である文化祭においても、執行役員を選ぶにあたって厳正なる面接を行い、文化祭の土台となる執行

現在わが校には六つのサークルがある。サークルとは、十数年前に「志を同じくする会員の日常的な活動を支援しよう」という趣旨で制定され、学友会内で運用されている制度である。毎年登録し、学友会役員会の下でさまざまな制約の中、工夫しながら日々活動に励んでいる。以下各サークルを紹介する。

サークル紹介

◎軽音楽サークル

2年D組 堀岡 貴光

バンドを組んで演奏したり、練習をするために結成され現在二年生十五名のメンバーがいます。いろいろなライブを見に行ったり、放課後空いている教室で周囲に迷惑にならないように、ギターやベースをアンプ等に繋げないで練習しています。これまでに文化祭中庭ステージに出場したり神戸女学院高等部軽音楽部との合同発表会開催などの実績があります。

◎文化総合研究サークル

2年G組 井上 泰志

新しい定理発見とソフトウェア開発を目指して毎日放課後と土曜日に数学小教室でハードに活動しています。これまでカナダサイエンスフェア四年連続一位、朝日新聞コンテスト一位、イギリス、アメリカ、オーストラリア、セルビア等の数学雑誌に掲載されるなど輝かしい業績をあげています。現在も文部科学省の助成金を得てひとつのテーマについて研究しています。

◎図書サークル

3年D組 杉原 大将

読書によって人間力を高め、また一般生徒に読書を推奨していくことを設立趣旨に毎週木曜日の放課後図書館で活動しています。今年度すでに三回図書便りを編集し発行し多くの本を紹介してきました。次回からは運動部に本の紹介をしようという編集計画を立てています。メンバーは五人で、今年度の文化祭への出展を考えています。

◎軽音愛好会

1年F組 小早川 泰祐

メンバーの演奏技術の向上やメンバー同士の演奏を目的に、一年生十二名で二C教室で水曜日から金曜日の放課後に練習しています。今年度の文化祭に出場することを目標にしています。

◎クイズ研究サークル

1年A組 北田 吏

社会で通用する一般教養を身につけることを目標に、年生十四人で、月々水曜日は早押しクイズ、木曜日はミートイグングと二〇〇問ペーパーテストや各自が持ち寄った得意ジャンルの問題を出し合う「ジャンル別」問題に取り組み、金曜日はペーパーテストの成績発表と復習を行っています。現在高校生クイズ兵庫県代表になることを目標にしています。

『子ども会50年の歩み』 の発刊にあたって

中山堯政・中村知斉
(2009年度卒業)



僕たちがこの冊子を作成することになったそもそものきっかけは僕たちの一つ上の代の宗教部の先輩たちが当時の宗教部顧問のアルミン先生とこれまでの子ども会の活動をまとめた冊子を発刊することを計画したことです。それまで子ども会には五十年ものこれまでの長い歴史があるにも関わらず、まとまった資料といったものが存在していませんでした。後世の先輩たちにこの歴史ある子ども会という行事を伝えていくためにまとまった資料は必要との判断からこの活動は計画されました。しかし生憎先輩たちの代だけでは冊子を発刊まで完成させることはかなわなかったため、僕たちの代が引き継ぐことになりました。

た。冊子の編集にあたっては資料が散乱し、過去の子ども会についての情報収集が困難な中、沢山の方々のご協力を頂きました。長年子ども会に参加していただいている施設の先生方や、関西学院・神戸女学院両校の子ども会のOB・OGの皆様、また先生方には文章や資料のご協力などをお願いさせて頂き、多くのお力をお貸し頂きました。あくまで部活動の一環として作成した冊子なので至らない箇所もあるかもしれませんが、この冊子が少しでもこれからの春の子ども会の発展につながり、またこれまでの子ども会に関わってこられた方々に懐かしんでいただく良い機会になればという気持ちでつくりました。是非目を通して頂けたら幸いです。

就任までいろいろありましたが任期が始まりようやく一ヶ月が経ちました。前執行部が発足したとき私は管理部に所属しておりました。そこで見つけた高等部の「穴」と思われる点を改善すべく会長になりました。また三年間野球部で学んだ基礎を固めることや陰で支えることを上手に生かしていくつもりです。まだ会長としての仕事もようやく慣れてきたばかりで、仕事も次々に入ってきて毎日多忙な日々を過ごしていますが、学友会長を誇りを持ってやりとげたいと思います。

学友会 会長・副会長あいさつ

3年B組 黒田健太



2年D組 大川 将



◆副会長あいさつ
二〇一〇年度学友会副会長の役を務めさせていただきました大川です。またこの高等部に入学して二年少々しか過ぎていない緊張、不安などもあります。黒田会長のものという学友会ながら、自分に出来る限りのことを精一杯なそうと思っています。今年の学友会スローガンである「原点回帰」の通り、各生徒が今の高等部の問題を見つめ、「関学生とはどうあるべきか」を考えていけるよう、学友会は尽力していきたいと思っています。一年間よろしくお願います。



という好評ぶりでした。また、マイ箸作りと並行して箸袋作りも行いましたが、こちらもとても好評で、用意した布が足らなくなるほどでした。秋にもまたマイ箸運動を行うおうと思うので、興味のある方はぜひ参加してください。

◆会長あいさつ
就任までいろいろありましたが任期が始まりようやく一ヶ月が経ちました。前執行部が発足したとき私は管理部に所属しておりました。そこで見つけた高等部の「穴」と思われる点を改善すべく会長になりました。また三年間野球部で学んだ基礎を固めることや陰で支えることを上手に生かしていくつもりです。まだ会長としての仕事もようやく慣れてきたばかりで、仕事も次々に入ってきて毎日多忙な日々を過ごしていますが、学友会長を誇りを持ってやりとげたいと思います。



テニス部 九年連続で全国選抜出場
ベスト16に

北九州博多で行なわれた全国選抜高校テニス大会に、関学高等部テニス部は九年連続出場を果たした。昨年の近畿大会で準決勝に進出して全国への切符を手にした。全国大会では昨年、昨年と二回戦で涙を吞んだだけに、今年こそ勝利を果たさんと臨んで九州へ乗り込んだ。三月二十一日に博多の森センターコートで盛大に開会式が挙行され、式後の抽

◆アメリカンフットボール部
関西制覇



一步ずつ歩み続けた春のシーズンが終わった。県を勝ち抜き、関西大会では、大産大付属に六年ぶりに、そして立命館宇治に三年ぶりに勝利。その内容からも、大きな自信を得て、決勝に臨んだ。相手は、箕面自由学園。箕面自由学園の攻撃力は、凄まじいもので、これまで出会った相手とは明らかに異質の才

優勝の福井県代表北陸高校であった。前日惜敗したダブルスチームが快勝し、エースでシングルス1の藤主将も勝って三ー〇のストレート勝ちを収めてベスト16入りを果たした。二

ラグビー部では年に三回、兵庫県の王者を決める勝負がある。一度めは二月の新人戦。今年はライバル報徳に二十九一五で勝利。報徳に快勝したのは二〇〇三年以来である。そして、これで出場権を得た三月の近畿大会では、強豪・大阪朝鮮を相手に、十二一二十で敗れたが、互い

能を見せ付けられた。個人の才能が、組織を凌駕してしまうのではないかと、多くの人が唖った。けれど、積み重ねた自信を糧に、どんなときも相手にプレッシャーをかけ続けたディフェンス。個人ではなく、組織で機能し続けたオフェンス。互いに懸命に戦い、歴史に刻むほどの名勝負が生まれた。そして四三三六で勝利。三年ぶりの関西制覇となった。けれど、本当の勝負は今から。人として、高校生として、フットボーラーとして、全てを高める戦いが始まる。逃げずに、ぶれずに、やりぬく姿を、全ての人が信じてい

◆ラグビー部
新人戦
県民大会連覇

決戦が六月の県民大会。報徳を三三三三で破った。ラグビー部にとって、新人戦と県民大会を連覇したのは史上初である。もともと、これで追われる立場になった。三度めの決戦は十一月、花園を賭けた大会だ。今年の関学は強いと言われてきて、それを示す結果となったが、これからライバル報徳とともに、勝負の夏を迎える。

悪条件を乗り越え、春の地区大会に臨んだが、部員一同が、激戦の末田中が破れ、ベスト8進出は惜しくもならなかった。しかし、藤を中心とした九人のメンバーはチームワークで最後まで見事に戦った。

優勝の福井県代表北陸高校であった。前日惜敗したダブルスチームが快勝し、エースでシングルス1の藤主将も勝って三ー〇のストレート勝ちを収めてベスト16入りを果たした。二

三年生最後の今大会において、阪神予選を二位で通過した団体戦では、兵庫商業高校・洲本実業高校を下し、近畿決定戦の四回戦、夢野台高校戦に臨んだ。選手一同、まずは近畿大会と考えていたものの、残念ながら敗北。そして近畿大会出場最後の枠を争う決定戦の一回戦で科学技術高校を迎えた。一・四番手であり、二一二という中で五番手に二年生石井に回る。精一杯力を出したが、相手の三年生の意地が二二三で敗北。結局団体・シングルス・ダブルスと奮闘したものの近畿大会・インターハイは届かなかった。

三年生最後の今大会において、阪神予選を二位で通過した団体戦では、兵庫商業高校・洲本実業高校を下し、近畿決定戦の四回戦、夢野台高校戦に臨んだ。選手一同、まずは近畿大会と考えていたものの、残念ながら敗北。そして近畿大会出場最後の枠を争う決定戦の一回戦で科学技術高校を迎えた。一・四番手であり、二一二という中で五番手に二年生石井に回る。精一杯力を出したが、相手の三年生の意地が二二三で敗北。結局団体・シングルス・ダブルスと奮闘したものの近畿大会・インターハイは届かなかった。

◆卓球部



優勝の福井県代表北陸高校であった。前日惜敗したダブルスチームが快勝し、エースでシングルス1の藤主将も勝って三ー〇のストレート勝ちを収めてベスト16入りを果たした。二

優勝の福井県代表北陸高校であった。前日惜敗したダブルスチームが快勝し、エースでシングルス1の藤主将も勝って三ー〇のストレート勝ちを収めてベスト16入りを果たした。二

優勝の福井県代表北陸高校であった。前日惜敗したダブルスチームが快勝し、エースでシングルス1の藤主将も勝って三ー〇のストレート勝ちを収めてベスト16入りを果たした。二

優勝の福井県代表北陸高校であった。前日惜敗したダブルスチームが快勝し、エースでシングルス1の藤主将も勝って三ー〇のストレート勝ちを収めてベスト16入りを果たした。二

◆水泳部

優勝の福井県代表北陸高校であった。前日惜敗したダブルスチームが快勝し、エースでシングルス1の藤主将も勝って三ー〇のストレート勝ちを収めてベスト16入りを果たした。二

優勝の福井県代表北陸高校であった。前日惜敗したダブルスチームが快勝し、エースでシングルス1の藤主将も勝って三ー〇のストレート勝ちを収めてベスト16入りを果たした。二



優勝の福井県代表北陸高校であった。前日惜敗したダブルスチームが快勝し、エースでシングルス1の藤主将も勝って三ー〇のストレート勝ちを収めてベスト16入りを果たした。二

優勝の福井県代表北陸高校であった。前日惜敗したダブルスチームが快勝し、エースでシングルス1の藤主将も勝って三ー〇のストレート勝ちを収めてベスト16入りを果たした。二

◆柔道部

優勝の福井県代表北陸高校であった。前日惜敗したダブルスチームが快勝し、エースでシングルス1の藤主将も勝って三ー〇のストレート勝ちを収めてベスト16入りを果たした。二

優勝の福井県代表北陸高校であった。前日惜敗したダブルスチームが快勝し、エースでシングルス1の藤主将も勝って三ー〇のストレート勝ちを収めてベスト16入りを果たした。二

◆陸上部
ハードルで
インターハイ

今年度は一年生が十四名も入部し、活気に満ちている陸上部であるが、まず西宮市民大会で総合優勝。全国につながる第一歩の阪神地区大会では総合第二位となり、続く県大会では、一〇mHで前田、山根が決勝に進み、山根は県大会優勝。佐浦も陸上部史上初めて棒高跳で近畿大会の出場を決めた。また、リレー種目四×一〇〇mRでは岩崎・山根・伊山・稲田のメンバーで県三位と健闘。走り幅跳びに出場した藤谷はわずか二cmで近畿大会を逃した。そして、地元神戸で開催された近畿大会では山根・針谷・伊山・稲田のメンバーで

今年度は一年生が十四名も入部し、活気に満ちている陸上部であるが、まず西宮市民大会で総合優勝。全国につながる第一歩の阪神地区大会では総合第二位となり、続く県大会では、一〇mHで前田、山根が決勝に進み、山根は県大会優勝。佐浦も陸上部史上初めて棒高跳で近畿大会の出場を決めた。また、リレー種目四×一〇〇mRでは岩崎・山根・伊山・稲田のメンバーで県三位と健闘。走り幅跳びに出場した藤谷はわずか二cmで近畿大会を逃した。そして、地元神戸で開催された近畿大会では山根・針谷・伊山・稲田のメンバーで

今年度は一年生が十四名も入部し、活気に満ちている陸上部であるが、まず西宮市民大会で総合優勝。全国につながる第一歩の阪神地区大会では総合第二位となり、続く県大会では、一〇mHで前田、山根が決勝に進み、山根は県大会優勝。佐浦も陸上部史上初めて棒高跳で近畿大会の出場を決めた。また、リレー種目四×一〇〇mRでは岩崎・山根・伊山・稲田のメンバーで

今年度は一年生が十四名も入部し、活気に満ちている陸上部であるが、まず西宮市民大会で総合優勝。全国につながる第一歩の阪神地区大会では総合第二位となり、続く県大会では、一〇mHで前田、山根が決勝に進み、山根は県大会優勝。佐浦も陸上部史上初めて棒高跳で近畿大会の出場を決めた。また、リレー種目四×一〇〇mRでは岩崎・山根・伊山・稲田のメンバーで

今年度は一年生が十四名も入部し、活気に満ちている陸上部であるが、まず西宮市民大会で総合優勝。全国につながる第一歩の阪神地区大会では総合第二位となり、続く県大会では、一〇mHで前田、山根が決勝に進み、山根は県大会優勝。佐浦も陸上部史上初めて棒高跳で近畿大会の出場を決めた。また、リレー種目四×一〇〇mRでは岩崎・山根・伊山・稲田のメンバーで

◆サッカー部

今年度は一年生が十四名も入部し、活気に満ちている陸上部であるが、まず西宮市民大会で総合優勝。全国につながる第一歩の阪神地区大会では総合第二位となり、続く県大会では、一〇mHで前田、山根が決勝に進み、山根は県大会優勝。佐浦も陸上部史上初めて棒高跳で近畿大会の出場を決めた。また、リレー種目四×一〇〇mRでは岩崎・山根・伊山・稲田のメンバーで

今年度は一年生が十四名も入部し、活気に満ちている陸上部であるが、まず西宮市民大会で総合優勝。全国につながる第一歩の阪神地区大会では総合第二位となり、続く県大会では、一〇mHで前田、山根が決勝に進み、山根は県大会優勝。佐浦も陸上部史上初めて棒高跳で近畿大会の出場を決めた。また、リレー種目四×一〇〇mRでは岩崎・山根・伊山・稲田のメンバーで

今年度は一年生が十四名も入部し、活気に満ちている陸上部であるが、まず西宮市民大会で総合優勝。全国につながる第一歩の阪神地区大会では総合第二位となり、続く県大会では、一〇mHで前田、山根が決勝に進み、山根は県大会優勝。佐浦も陸上部史上初めて棒高跳で近畿大会の出場を決めた。また、リレー種目四×一〇〇mRでは岩崎・山根・伊山・稲田のメンバーで

今年度は一年生が十四名も入部し、活気に満ちている陸上部であるが、まず西宮市民大会で総合優勝。全国につながる第一歩の阪神地区大会では総合第二位となり、続く県大会では、一〇mHで前田、山根が決勝に進み、山根は県大会優勝。佐浦も陸上部史上初めて棒高跳で近畿大会の出場を決めた。また、リレー種目四×一〇〇mRでは岩崎・山根・伊山・稲田のメンバーで

今年度は一年生が十四名も入部し、活気に満ちている陸上部であるが、まず西宮市民大会で総合優勝。全国につながる第一歩の阪神地区大会では総合第二位となり、続く県大会では、一〇mHで前田、山根が決勝に進み、山根は県大会優勝。佐浦も陸上部史上初めて棒高跳で近畿大会の出場を決めた。また、リレー種目四×一〇〇mRでは岩崎・山根・伊山・稲田のメンバーで

◆ゴルフ部

今年度は一年生が十四名も入部し、活気に満ちている陸上部であるが、まず西宮市民大会で総合優勝。全国につながる第一歩の阪神地区大会では総合第二位となり、続く県大会では、一〇mHで前田、山根が決勝に進み、山根は県大会優勝。佐浦も陸上部史上初めて棒高跳で近畿大会の出場を決めた。また、リレー種目四×一〇〇mRでは岩崎・山根・伊山・稲田のメンバーで

今年度は一年生が十四名も入部し、活気に満ちている陸上部であるが、まず西宮市民大会で総合優勝。全国につながる第一歩の阪神地区大会では総合第二位となり、続く県大会では、一〇mHで前田、山根が決勝に進み、山根は県大会優勝。佐浦も陸上部史上初めて棒高跳で近畿大会の出場を決めた。また、リレー種目四×一〇〇mRでは岩崎・山根・伊山・稲田のメンバーで

◆数学研究
今年も
カナダ
サイエンスフェア
1位に輝く

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

◆ヨット競技

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

◆吹奏楽部

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

◆写真部

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

◆グリーククラブ

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

◆吹奏楽部

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

中岡拓磨、小笠航、井上泰志、西村幸朗、泊祐樹、松岡大司がCanada Wide Virtual Science Fairにおいて「1st prize」を獲得しました。研究内容は組み合わせゲーム理論です。二〇〇七年からの四年連続という快挙で、審査員の批評は「Outstanding」(傑出した)という最上級の賛辞を得ており、全く自力だけで結果を残した高等部の成果は特筆されるべきだと思います。

◇一年生

みろくの里へ

一年生にとって初めて宿泊行事、校外ホームルームが六月十五日・十六日、広島県福山市の「みろくの里」でおこなわれました。



初日は雨天の中、A・C組がカッターボート訓練、D・G組が帆の浦散策、翌日は好天のもと前日は逆のプログラムをそれぞれ経験しました。

カッターボートは、指導員の方の熱心な御指導のもと、かけ声に合わせ、調子を合わせてオールを漕ぎます。最初はぎこちなかった各艇も、時間と共に見違える動きとなり、最後は全長約一キロの行程でレースを実施。初日はA組一号艇、二日目はD組一号艇が優勝し、メダルを授与されました。

帆の浦では、クラスが四グループに分かれ、課題の書かれたシートを手に、江戸時代の面影が残る町並みを散策。シートの中には、「地元の商店を訪ねてお店の方のお話を伺う」という課題もあり、地元の方の貴重なお話を伺う経験をすることもできました。

初日夜の合唱コンクールでは、各クラスが練習を重ねてきた讃美歌二曲を、大きな声と豊かなハーモニーで熱唱。同じ曲でも各クラスの持ち味が発揮され、審査の結果D組が優勝、ハーゲンダッツを手にしました。



今回事業後のアンケートでは、「知らなかった友達との一面を発見できた」「クラスの団結が強まった」という感想が多く寄せられました。今回の経験が、日頃の学校生活や文化祭への取り組みに生かされることが期待されます。

◇二年生

校外ホームルーム

ディベートに挑戦

二年生の校外ホームルームは、兵庫県神戸高砂で六月十五日から十六日にかけて実施されました。出発当日は、あいにくの雨天でしたが、バスの中は和気藹々と始終楽しい笑い声が響いていました。

宿泊で開会式を行い、メイニイベントである、ディベート大会が実施されました。今年のディベートの論題は「女

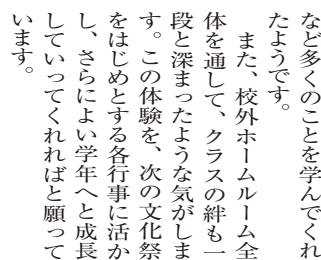


性専用車両は廃止すべきである」でした。まずは、クラス内でグループごとに対決し、ベストディベーターを六人選出します。この時選ばれた六人は、クラス対抗ディベートへと進みます。事前に授業を使って調べ学習を行いました

が、生徒たちにとって興味深い題材であったためか、皆真剣に取り組み、活発な議論となったようです。

夕食は、ジンギスカンで、生徒たちの喜びもひとしお。夜は、校外行事とあって、仲間同士うちとけあい、話を弾ませていました。

翌日は、但馬ドーム内で、前日勝ち上がった組による試合が行われました。全クラスが見守る中、決勝に勝ち残ったのは、A組とC組。決勝戦ともなれば、交通弱者、男女の人権、冤罪などに話が及び、審査する教師も判定に困るほどのレベルの高い議論となりました。審議の結果、四対



三という僅差で、優勝はC組に決まりました。

生徒たちはディベート大会を通して、的確に情報を収集することや双方の意見を聞きとって判断することの大切さなど多くのことを学んでくれたようです。

また、校外ホームルーム全体を通して、クラスの絆も一段と深まったような気がします。この体験を、次の文化祭をはじめとする各行事に活かして、さらにより学年へと成長していってほしいと願っています。

◇三年生

遠足

人権講演会と関西学院大学の三つの学部説明を聞いた翌日は、クラスごとに計画を立て、思い思いの場所へクラス遠足に出かけた。心配されていた天候も回復し、昼には太陽も顔を見せ、絶好の遠足日和となった。



残念ながらB組は楽しみにしていた保津川ラフティングが吉本新喜劇見物へと変更されたが、ここも大いに盛り上がり、他のクラスは企画どおりに無事実施することができ、楽しいひと時を過ごした。

他のクラスの行き先は、A組がしあわせの村でのバーベキュー、C組がひらかたパーク、D組がユニバーサルスタディオジャパン、E組が六甲山カンツリーハウスのバーベキュー、F組が京都散策、G組が大蔵海岸サイトブリッジでのバーベキューと、各クラスとも遠足委員会を中心にして企画を練り、前日はまた違った笑顔を見せて、大いに羽根を伸ばした一日となった。

人権講演

日本理化学工業
大山さんをお迎えして



校外ホームルームで、二年生が学校を離れた六月十五日に、三年生は人権講演を聞く機会を持つことができました。人権講演会は、沼田人権主任の尽力で日本理化学工業取締役の大山泰弘氏をお迎えした。東京から朝駆けつけてくださった大山氏は、チョークを製造するご自身の会社で、いち早く積極的に障がい者の雇用に取り組んでこられたその経験を、VTRで学んだとおりの口調で真剣に話された。随所に人間味あふれる暖かさとその奥底にある人間への尊敬が感じられ、聴講した三年生と教職員は胸を打った。人間の幸せは、「人からほめられる事」、「人から必要とされること」、「何か人に役に立てること」、「愛されること」であると語られた言葉から、聖書の御言葉に通じていることを感じた。大山氏は高等部玄関の「すべての人の僕たれ」にも気づかれ、学院モットーをまた違う視点からも見直すことができた。五十年前の、まだ日本が高度成長経済を迎える前の時代、経済成長第一優先の考えの中、積極的に障がい者を雇用した大山氏とそれを受け入れた会社の人々の心に福祉の本当のあり方と、人間の真の幸せとは何かを考えさせられた。

今年お迎えした先生

先生

今年から英語科の常勤講師に大西加奈子先生をお迎えしました。



関西外国語大学で学ばれた後、英会話講師として働かれ、その際に教えることや人と接することに興味を持たれ、関学の大学院、言語コミュニケーション文化研究科に進まれた。その際にも、現在も続いている関学大とABCが主催する「高校生国際交流の集い」のヘッドコーディネーターを務められました。

昨年、高等部で非常勤講師としてお勤めでしたが、高等部の生徒はコミュニケーション能力や表現力がとても高く、一人一人の個性が豊かで、いろ

特別研修を終えて

国語科 坂下正明

昨年度、本校の特別研修制度に基づき貴重な一年間を満喫させて頂きました。当初の目標は、日本文化史の観点で古文教材を本校の状況に適し

たカリキュラムに組み込むこととした。そのために同志社大学で文化史を、仏教大学で史学を学び始めたのですが、しだいに史学的検証のおもしろさに惹かれ、六十余歳にして、図書館通いと論文作成の日々を過ごすことになりました。

歴史地理学や仏教史、古代政権の形成、近世社会の支配行政の構造、近代都市の形成過程等々と初めて識られることばかりで、なかでも、以前から関心をもっていた幕末の山岡鉄太郎を史料学的に調べ始めると、手元にある本の大半は根拠の乏しいものであることが次第にわかり始め、歴史家が手をつけなかった理

由を納得すると同時に、研究の行き詰まりを感じる状況のまま、残念ながら、一年が過ぎてしまったわけです。久しぶりに職場に復帰しますと、「若返った」と不思議なコメントをいただき、本人もその気で高校二年生の担任と現代文を担当させてもらって四ヶ月が過ぎましたが、改めて、高校の業務は生徒を中心とする人間関係(の機微)への配慮が第一の仕事だと気づかれます。研究作業は停滞し、提出物の点検と、問題作成に採点、授業準備に生活指導、KGLレビューの原稿書き等々と追い詰められ、嫌でも年齢を思い知らされています。

留学生紹介

FRISTROE, Vidar

(2D)

スウェーデン



My first impression of Japan was probably that the climate in Japan is very different from Sweden. The air was chokingly humid and it was very warm. Another thing that I noticed is

that Japanese people like to wear suits. But this is just a drop in the ocean. There are lots and lots of things that I thought about the first days and to be honest I can't really remember all of my first impression. About Kwansei Gakuin high school then. This school is very relaxed with rules and regulations. And the fact that you don't need uniform didn't seem very Japanese at first. Since I expected a really strict Japanese school I was surprised. But now I appreciate that, since students in this school seems to have more fun than in the average Japanese school. I have fun here in japan. And I hope to return to this school, as soon this school becomes co-ed.

KAHN, Maharangi

(1F)

ニュージーランド



Upon my arrival in Japan, I had various impressions. Before my arrival I had certain expectations on what my impression would be however they were not met. I was very surprised when I got out of the plane, it was really cold, the air was clean and there were not very many people in the airport. From the airport to my hotel that I would be staying at, the scenery was amazing; an endless amount of tall buildings exists. Rather overpowering feeling as in New Zealand such buildings do not exist. As time went on, when I had moved in with my host family I got to know the Japanese culture a lot better. The Japanese people are very kind and have a lot of manners that you would not find in any western country. Kwansei Gakuin high school is not what I expected a typical Japanese school would be like. My impression of a Japanese school was that everybody constantly studies, teachers are very very strict and school wouldn't be fun. However kansei gakuin high school is an exception. Kansei gakuin high school is a very relaxed high school where it is fun to study and go to school, the students are very crazy, full of energy and very fun to be around. My impression of Japan and kansei gakuin is very very positive and I am enjoying my stay in japan.

KHALILI, Mohammad Firdaus

(2A)

マレーシア



My name is Mohammad Firdaus bin Khalili, and I'm an AFS exchange student from Malaysia. Having taken my first step into my new life here in Japan, the first thought that came

into my mind was "Whoa! It's cold!" as it was still winter when I came. I didn't actually made full preparation when coming here so I thought I might be a burden. Now, having experienced more of the Japanese life, things seemed a bit more than what I had expected. Better, I think. Coming here, I had a few goals that I wanted to achieve; learning the language, experiencing its culture, both traditional and modern, make new friends, enjoy life as I like it, and do anything that I could think of while here. I'm really starting to love Japan and my life here, although at times I have problems because of the different cultures. I pray that my year here will be one that not only changes my life, but the lives that I've met too.

ORTEGA GRANILLO, Augusto

(2E)

メキシコ



My name is Augusto, I am an exchanged student at KG and I have been in Japan for 3 months. I find Japan a country completely different from my home (Mexico). It is true that I have not known all Japan because I have lived in Kobe since the beginning of my experience but I consider that through these months I have experimented a great part of the Japanese being. I find KG a common Japanese high school where the classes are given as normal as at the public schools so I think the educative environment cannot be less Japanese. I am living in Kitaku Kobe so I make a long travel to get to the school, nevertheless I can visit many places between KG and my house because I can travel as much as I want between those two places. It has been hard to adapt to the Japanese life but I am enjoying the enormous contrast that this experience shows me between Mexico and Japan.